



各 位

会社名 株式会社ソフィアホールディングス
代表者名 代表取締役社長 新村 直樹
(コード番号 6942)
問合せ先 経営企画室 浅野 茂雄
(TEL 03-6265-3339)

(訂正・数値データ訂正)後発事象の発生に伴う
「連結業績の前期実績値との差異に関するお知らせ」の一部訂正について

平成 28 年 5 月 16 日に発表しました「連結業績の前期実績値との差異に関するお知らせ」の記載内容に訂正すべき事項がありましたので、下記のとおり訂正いたします。

記

1. 訂正の理由

前述のとおり、「連結業績の前期実績値との差異に関するお知らせ」を平成 28 年 5 月 16 日に発表いたしました。その後、当社の連結子会社の株式会社ナノメディカルは、電子医療辞書事業譲受契約の合意解除に伴い返還されるべき支払済みの譲受代金が期限を過ぎても返還されていないため、特別損失に「貸倒引当金」を計上するに至ったため必要な修正を加えるものがあります。

2. 訂正箇所および訂正内容

【誤】

(1)「1. 平成 28 年 3 月期通期連結業績の前期実績との差異」

	売上高	営業利益	経常利益	親会社株主に 帰属する 当期純利益	1 株 当 たり 当 期 純 利 益
前期実績値(A) (平成 27 年 3 月期)	百万円 3,908	百万円 △108	百万円 △130	百万円 △652	円 銭 △30.61
実績値(B) (平成 28 年 3 月期)	3,581	△161	△192	△535	△24.46
増減額(B-A)	△327	△53	△62	117	
増減率(%)	△8.4	—	—	—	

(2)「2. 差異の理由」

当連結会計年度の業績は、通信事業を行う連結子会社のソフィアデジタル株式会社の売上は大幅に増加しましたが、健康医療介護情報サービス事業を行う株式会社ナノメディカル、遺伝子情報サービス事業を行う株式会社ジーンクエスト、インターネット関連事業を行う株式会社アクアにおいて想定していた収益に計上が遅れていること等から、差異が生じたものであります。親会社株主に帰属する当期純利益に関しては、当初の事業計画において想定していた収益の計上が遅れていることから、連結決算で計上しておりました、のれん及び固定資産を減損処理し、特別損失の計上をしたことが要因となり、差異が生じたものであります。

(注) 特別損失の詳細につきましては、同日発表の「特別損失計上に関するお知らせ」をご覧ください。

【正】

(1) 「1. 平成 28 年 3 月期通期連結業績の前期実績との差異」

	売上高	営業利益	経常利益	親会社株主に 帰属する 当期純利益	1株当 たり 当期純利益
前期実績値(A) (平成 27 年 3 月期)	百万円 3,908	百万円 △108	百万円 △130	百万円 △652	円 銭 △30.61
実績値(B) (平成 28 年 3 月期)	3,581	△161	△192	△567	△25.94
増減額(B - A)	△327	△53	△62	85	
増減率(%)	△8.4	-	-	-	

(2) 「2. 差異の理由」

当連結会計年度の業績は、通信事業を行う連結子会社のソフィアデジタル株式会社の売上は大幅に増加しましたが、健康医療介護情報サービス事業を行う株式会社ナノメディカル、遺伝子情報サービス事業を行う株式会社ジーンクエスト、インターネット関連事業を行う株式会社アクアにおいて想定していた収益に計上が遅れていること等から、差異が生じたものであります。親会社株主に帰属する当期純利益に関しては、当初の事業計画において想定していた収益の計上が遅れていることから、連結決算で計上しておりました、のれん及び固定資産を減損処理いたしました。健康医療介護情報サービス事業を行う連結子会社の株式会社ナノメディカルは事業譲受契約の合意解除に伴い発生した返還されるべき支払済み譲受代金が返還されていないため、貸し倒れの引当処理を行いました。これらの処理の結果、特別損失の計上をしたことが要因となり、差異が生じたものであります。

(注) 特別損失の詳細につきましては、同日発表の「(訂正・数値データ訂正) 後発事象の発生に伴う「特別損失計上に関するお知らせ」の一部訂正について」をご覧ください。

以 上